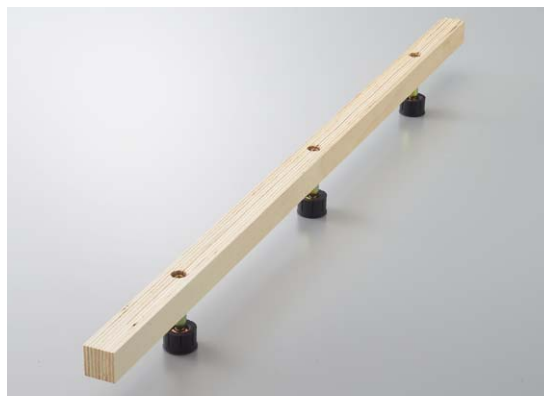


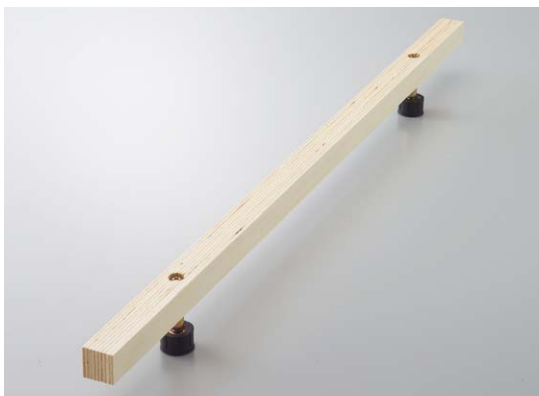
# 遮音タイプと耐荷重タイプの2種類のシステム根太

## システム根太SG

### 遮音タイプ



3M Sボルト



2M Sボルト

### 耐荷重タイプ



3M Gボルト



2M Gボルト

■システム根太SGは、遮音対策用と荷重対策用で仕様異なるため、下記の表にもとづいて使い分けてください。  
開口部には、ボルトが3本のシステム根太SGを、一般部にはボルトが2本のシステム根太SGを推奨いたします。

品名	ボルト	遮音タイプ		荷重タイプ	
		一般部	開口部	一般部	開口部
システム根太SG 30×30×910-2M (S)	Sボルト	●	△	△	△
	Gボルト	△	△	●	△
システム根太SG 30×30×910-3M (S)	Sボルト	●	○	△	△
	Gボルト	△	●	○	●

●:施工推奨 ○:施工可能 △:施工をお奨めしません

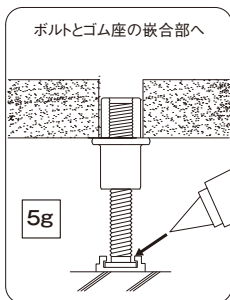
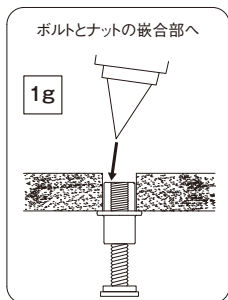
### 注意

- 品名表記に関して

システム根太SG 30×30×910-○□

○:ナットの本数 (2本もしくは3本)  
□:ナットのサイズ (SナットもしくはMナット)

- 最小高さの場合のみ、Sナットを使用してください。
- SGパットとボルトは現場で取り付けてください。
- 接着剤は、ボルトとナットの嵌合部、ボルトとゴム座の嵌合部へ「フリーフローシステム専用接着剤」を適量流し込んでください。



ホルムアルデヒド発散等級  
F★★★★



施工説明書